



「Chromebook (クロームブック) の効果的な活用について」

～一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業より：No.4～😊

今年度は、弥生小、あさひ小、千代田小、大森浜小、駒場小、湯川小、桔梗小、北昭和小、北中、椴法華中の10校が、「一人一台端末の効果的な活用に向けた実践事業」のモニター校になっています。第四弾として弥生小学校と北中学校の取組をご紹介します。



弥生小学校の取組

話し合いがスムーズに、意見交換が活発に ～紙と端末を併用した学習支援～

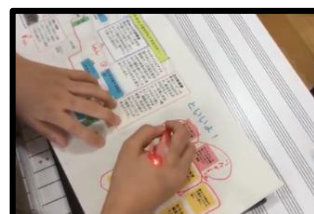
4年生の総合的な学習で、Google スライドを活用して、班ごとに「観光客が行ってみたいくなるようなルートマップ」を作成しました。

コメント機能を使ってルートマップ案に対する改善・修正意見を児童に書き込んでもらい、それを印刷した紙を使って個人や班で改善点を考えました。

その後、各班で紙のルートマップに、話し合いの結果を赤字で書き込んだり、その内容を、Google スライドで共同編集機能を活用して、改善・修正したりしました。

最後に、スクリーンに Before (紙に赤字で修正を加えたマップ) と After (PC上で修正した完成版マップ) の2つを投影して、各班で作成したルートマップについてクラス全体で意見交換を行いました。

紙と端末を併用することで、作業分担や話し合いがスムーズに進み、意見交換がより活発に行われました。



北中学校の取組



授業や学級活動、部活動などで classroom を積極的に使う様子が見られます。活用方法は、各教科で資料の提示、課題の配付、質問やテストなど多岐にわたりますが、授業での活用の一部を紹介します。

1 Google スライドを用いたグループワーク

英語の時間に、4～5人のグループで一つの文法について Google スライドにまとめました。インターネットの検索を活用し、資料や画像などの検索もスムーズにでき、作業効率が向上しました。以前までは、紙にレポートとして作成していた文法のまとめですが、スライドにすることで、簡単に発表の資料にすることもできるので、端末を使用する良さを感じることができました。



2 スプレッドシートや Forms の活用

授業の振り返り活動に、スプレッドシートを活用した自己評価や、Forms を活用したアンケートやテストを実施しています。

数学の時間には、授業内容の理解度の確認として、授業の終わりに3問～5問の簡単な確認テストを行っています。採点機能もあり、テスト終了後、生徒がその場で点数を確認し、解き直しもできます。また、教師自身もクラス全体の正答率を確認し、理解度もその場で分かるので、メリットを感じながら授業を行っています。

